

令和3年度 第1回 ふるさとまち歩き講座 12月4日(土) 新編武蔵風土記稿でたどる「下作延」報告

令和3年12月4日(土)、かねてより延期しておりました令和3年度第1回ふるさとまち歩き講座を実施いたしました。高津シルバーガイドの会会長の佐藤忠氏に講師をお願いし、「新編武蔵風土記稿」の記述をもとに武蔵溝ノ口駅から津田山駅まで歩きました。根もじり坂・神明社・津田山弁財天・七面山・円福寺・津田山を回り、緑が丘霊園から津田山駅まで戻り、天気にも恵まれる中、解散となりました。ふるさと高津の魅力を見つめ、3時間の楽しい小さな旅でした。



津田山弁財天

2022年1月・2月 (1階スロープ展示) ミニ市民ギャラリー 開催報告と予定



高津区を走る
田園都市線の日常

1階スロープでのミニ市民ギャラリーは、1月5日～1月22日「高津区を走る田園都市線の日常」(田中照人氏ほか2名による鉄道写真)、1月23日～2月15日「高津の星空2」(田中伸太郎氏による天体写真)が開催され、各作品が注目を集めています。また、2月16日～2月28日「高津パステル」様の作品展が開催されますので、ぜひご来場ください。



高津の星空2

【お知らせ】

- ◆新型コロナウイルスの感染拡大防止等で、行事の開催等が変更となる可能性があります。
- ・2月下旬に予定していた「冬のふるさと館まつり」は中止となりました。
- ・展示替えのため、2月24日・25日、3月4日は、展示室を閉室させていただきます。
- ・3月5日から4月中旬まで、常設展を開催します。

川崎市大山街道ふるさと館 <利用案内>

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (712) 0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示室 10:00～17:00)

休館日 ・年末年始(12月28日～1月4日)

施設点検日 ・毎月の最終金曜日 (17時閉館)
ただし、2022年は4月と12月は
第4金曜日になります。

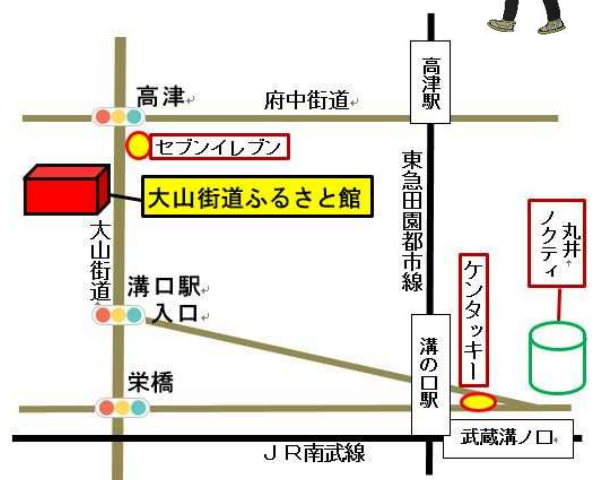
※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、
第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)
が利用できます。「ふれあいネット」から
お申込みください。

ふるさと館 HP



一ふるさと館案内図一



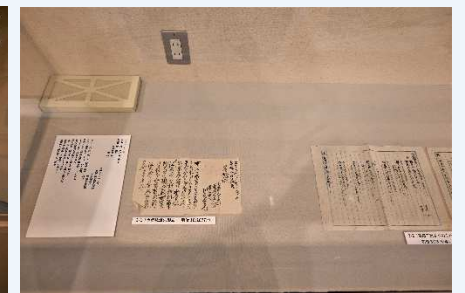
JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 <http://furusatokan.web5.jp/>

2月23日(水・祝)まで 令和3年度 第4回企画展 「二子・溝口と多摩川 -生活・産業・治水-」開催中!

令和3年12月4日(土)より、ふるさと館1階展示室にて、令和3年度第4回企画展「二子・溝口と多摩川 -生活・産業・治水-」を開催しております。本企画展は、ふるさと館のある二子・溝口地域と、すぐそばを流れる多摩川の様々な関りを生活・産業・治水の3つのテーマから紹介するものです。漁具や、川船の道具などといった民具資料や、関連する古文書資料などを通して、二子・溝口と多摩川の歴史と文化に迫ります。

会場：1階展示室 開催期間：12月4日～2月23日 入場無料 開室時間：10:00～17:00



展示の様子

令和3年度第5回企画展 「地域が創出するカルチャー展 ～趣味が創り出す美と感動の世界～」

2022年2月26日(土)～3月3日(木) 開催

1階展示室にて
開室時間
10時～17時
入場無料

本企画展は、当館にて活動しておられる6つの文化団体による様々な作品を展示するものです。

天為溝の口俳句会(俳句)、高津短歌会(短歌)、高津パステル(絵画)、麦の会(絵画)、フラワーサークルリリー(フラワーアレンジメント)、なかよクラブ(書道)の計6団体が参加し、バリエーション豊かな作品が展示室を彩ります。



昨年の展示の様子

同時開催「高津のまちアーカイブ展」

カルチャー展との同時開催として、1階スロープにて「高津のまちアーカイブ展」を開催します。地域の風景を残してきた写真を展示し、街並みの移り変わりや歴史を紹介します。地域の昔の様子の写真、子どものころの懐かしい写真など、ぜひお越しの上、ご覧ください。

令和3年度 企画展 10月1日(金)～11月28日(日) 「給水開始100年—近代川崎を切り拓いた水道—」報告

主催:川崎市市民ミュージアム 共催:川崎市上下水道局、川崎市大山街道ふるさと館

本企画展は川崎市の上水道が給水開始100周年を迎えたことの記念事業の一環として企画されたものです。水道敷設時の資料や、市制施行前後からその後の都市形成を表す水道関係の資料などを展示し、川崎における水道事業の歴史をたどり、2,200人を超える方にご覧いただきました。

展示内容に関連し、川崎市における水道の歴史を学ぶことのできる講演会や映画上映会、学芸員解説も開催され、多くの参加者で賑わいました。

また、この企画展に関連し、川崎市市民ミュージアム主催で「うれしい蛇口コンテスト」が開催されました。これは、川崎市の小学生などから、「こんな蛇口があったらうれしい」という蛇口のデザインを募るといいう企画でした。500点あまりのバラエティ豊かな作品が集まり、展示室前のスロープ一面に全作品が飾られたほか、川崎市上下水道局賞は実際に立体作品として製作・展示され、来館者の注目を集めました。



学芸員解説のようす
左手前は、水道に使用された鉄鍍管(大正8年製)



「うれしい蛇口コンテスト」への
全応募作品を掲示

令和3年度 11月13日(土) 「ぶらり散歩 二子の散策と老舗料亭やよい訪問」報告

令和3年11月13日(土)、コロナ禍が続く中、昨年同様募集人数を絞り「ぶらり散歩」を開催しました。16名の参加者は、当館職員の解説を聞きながら二子橋や二子神社と歩き、光明寺に向かいました。光明寺では大貫家代々の墓などを見学し、いよいよ「やよい」訪問です。

「やよい」では二班に分かれ、先代の女将さんのインタビューをビデオで観たり、歴史を感じられる料亭の建物内部を女将さんの案内で見学したりしました。解散後も熱心に女将さんのお話を聞く方もいて、充実した訪問となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大前には、お茶とお菓子をいただきながら女将さんのお話をうかがっていました。

早く以前のような訪問が出来ればいいですねと、女将さんもそう言ってくださいました。



二子神社



料亭「やよい」見学と
女将さんのお話

令和3年度 第1回ふるさと探究講座 11月3日(水・祝) 「県央地域の大山街道 -海老名を中心に-」報告

今回の講座では、海老名市文化財保護審議委員会委員の片山兵衛氏をお招きし、大和・海老名周辺を通る大山街道について、江戸時代から明治時代にかけて歩いた人々の記録からお話しいただきました。

大山街道は物流の他、観光の道としても古くから多くの人々によって歩かれてきました。今回は渡辺華山や幕末の知識人たち、明治時代の役人たちなどといった人々の旅の様子を、片山氏のユーモアたっぷりの語り口から学ぶことができました。



講演の様子

令和3年度 第2回ふるさと探究講座 11月28日(日) 「溝口村の水騒動」報告

今回の講座では、青山学院大学経済学部教授の落合功氏をお招きし、文政4(1821)年に、ふるさと館のすぐ近くで起こった「水騒動」について講演いただきました。二ヶ領用水によって供給されていた多摩川の水をめぐる争われたこの事件について、その経緯を当時の報告書や日記などから追いつつ、背景に迫りました。直接争った当事者である溝口村や川崎領の村人たちだけでなく、事件の対処にあたった幕府の役人たちの立ち位置などについても詳しく解説され、より理解が深まる内容でした。

江戸時代当時の社会構造や生活について、溝口村から江戸までを巻き込んだ大きな事件を通してみることで、また新たな視点から学ぶことができました。



講演の様子

令和3年度 第3回ふるさと探究講座 12月18日(土) 「幕末期、大山街道沿いの歌人たち」報告

今回の講座では、地域史研究家の相澤雅雄氏をお招きし、幕末期の大山街道周辺地域で栄えた文化活動の中でも特に「和歌」について取り上げてお話しいただきました。

比較的幅広い層の庶民にも趣味として親しまれた「俳諧」に対して、和歌は知識人の趣味として主に名主層などの間で広まりました。講座では、府中大國魂神社の神官だった猿渡容盛が幕末期に武蔵・相模の人々の和歌を集めた『類題新竹集』を取り上げ、大山街道の溝口宿と長津田宿における歌人の活動や交流について紹介されました。



講演の様子